

平成28年度第5回甲賀市地域福祉計画審議会【会議結果】

1. 日 時 平成29年1月17日（火） 午前10時～正午
2. 場 所 水口社会福祉センター 2階 中会議室
3. 出席者
 - (1) 委員 森田千歳委員、橋本恵順委員、西村敦子委員、栗田修司委員、藤本俊治委員、上山清美委員、安達みのり委員、辻金雄委員、金子秀明委員、岡田重美委員、打田絹子委員（以上、11人）
【欠席委員】 富岡正義委員、辻淳子委員、西村與利子委員、大西安雄委員
 - (2) 事務局 伊藤勲健康福祉部次長
【健康福祉部社会福祉課】
幡野啓二課長、椎野康浩福祉政策係長、吉川邦彦主査
4. 傍聴者 なし
5. 会議結果
 - (1) 意見聴取事項
第2次甲賀市地域福祉計画（素案）について
【主な意見等】
 - 社会福祉協議会が策定している地域福祉活動計画との整合性はどうか。
 - 制度の狭間にいるひきこもり等への対応。
 - 今後は、地域・団体等の役割が重要になってくる。見守り、支え合いを進めていく必要がある。
 - 行政、地域、NPO等の団体とのつながり、協働が、甲賀市をよりよいまちにしていけるため必要。
 - 本計画は、市民にとって重要な計画になると思うが、計画が策定された後、どのように周知していくのか。
 - 本計画において、甲賀市の独自性を出していかなければならない。乳幼児期のこどもの育成、人間形成の基礎となる時期が重要。
 - 地域で活動されている方や団体に対して、本計画に掲載されている事業等が自分たちの活動につながっていると分かるようになればよい。
 - データにある相談件数等については、相談の内容(件数上位3項目程度)を掲載することで、市民の参考になるのではないか。

- それぞれの地域や団体等の活動が、本計画のどの位置にあつて、他に掲載されている事業とつながれば活動が広がっていくのかと考えられる計画とするとよい。
- 行政としても本計画を見て、どういう事業とつながると現在行っている事業がよりよいものになるか、常に考え、事業をより展開していく上でのヒントとなるようこの計画を活用していくことが大切。
- 地域福祉を進めるためには、市民をどう巻き込んでいくかが大切。
- 計画に方法や進め方が書いているのではなく、現在実践している取組を認識するためのものとする。
- 計画に書いている文言がどうかではなく、現在の取組の実行性、展開が重要。

(2) その他

次回審議会の開催時期について

次回会議は、2月下旬から3月上旬に開催する予定。

6. 会議録 別添のとおり

7. 会議資料 別添のとおり